

# 基礎数学B 講義演習プリント・出席確認

担当 石川 剛郎 (いしかわ ごうお) (2015年度後期)

No. 21 西暦2015年12月16日 (水2)

学生番号

氏名

21-1. 次の問いに答えよ。

(1)  $\mathbf{R}^2$  の点  $(x_0, y_0)$  の Euclid 距離での  $\varepsilon$ -近傍

$$B((x_0, y_0), \varepsilon) = \{(x, y) \in \mathbf{R}^2 \mid (x - x_0)^2 + (y - y_0)^2 < \varepsilon^2\}$$

に対し,  $V = (x_0 - \frac{\varepsilon}{\sqrt{2}}, x_0 + \frac{\varepsilon}{\sqrt{2}}) \times (y_0 - \frac{\varepsilon}{\sqrt{2}}, y_0 + \frac{\varepsilon}{\sqrt{2}})$  とおくと,  $V \subset B((x_0, y_0), \varepsilon)$  が成り立つことを示せ。

(2)  $\mathbf{R}^2$  上の Euclid 距離位相  $\mathcal{O}$  に関して, ある  $U \subset \mathbf{R}^2$  が開集合であるとはどういう意味か, 定義を述べよ。

(3)  $\mathbf{R}^2$  の Euclid 距離位相  $\mathcal{O}$  に関して,  $\mathcal{B} := \{(a, b) \times (c, d) \in \mathcal{O} \mid a, b, c, d \in \mathbf{R}, a < b, c < d\}$  が  $\mathbf{R}^2$  の開集合系  $\mathcal{O}$  の基 (開基) であることを示せ。

- (1)  $(x, y) \in V$  とする  $|x - x_0| < \frac{\varepsilon}{\sqrt{2}}, |y - y_0| < \frac{\varepsilon}{\sqrt{2}}$  だから  
 $d((x, y), (x_0, y_0))^2 = (x - x_0)^2 + (y - y_0)^2 < \frac{\varepsilon^2}{2} + \frac{\varepsilon^2}{2} = \varepsilon^2$   
 $\therefore d((x, y), (x_0, y_0)) < \varepsilon \quad (x, y) \in B((x_0, y_0), \varepsilon)$   
したがって  $V \subset B((x_0, y_0), \varepsilon)$
- (2) 任意の  $(x_0, y_0) \in U$  に対して,  $\varepsilon > 0$  が存在して  
 $B((x_0, y_0), \varepsilon) \subset U$  が成り立つこと
- (3)  $U \subset \mathbf{R}^2$  を開集合 (つまり  $U \in \mathcal{O}$ ) とする,  $\forall (x_0, y_0) \in U$  は  
 $\exists \varepsilon > 0, B((x_0, y_0), \varepsilon) \subset U$ .  
(1) すなはち  $V = (x_0 - \frac{\varepsilon}{\sqrt{2}}, x_0 + \frac{\varepsilon}{\sqrt{2}}) \times (y_0 - \frac{\varepsilon}{\sqrt{2}}, y_0 + \frac{\varepsilon}{\sqrt{2}})$   
とおくと  $(x_0, y_0) \in V \subset U$  となり  $V \in \mathcal{B}$  である  
したがって  $\mathcal{B}$  は  $\mathcal{O}$  の基である。

«「数学の仕組み」に関するメモ»

1. (1)  $(x, y) \in V$  とする。 $|x - x_0| < \frac{\varepsilon}{\sqrt{2}}, |y - y_0| < \frac{\varepsilon}{\sqrt{2}}$  が成り立つ。距離の2乗  $(x - x_0)^2 + (y - y_0)^2$  を不等式で評価しよう。

(2) 基本的な定義はすべて覚えておこう。

(3)  $\mathcal{B} \subset \mathcal{O}$  が  $\mathcal{O}$  の基であるとは、任意の  $U \in \mathcal{O}$ , 任意の  $x \in U$  に対して、 $V \in \mathcal{B}$  で、 $x \in V$ かつ  $V \subset U$  となるものが存在することである。